

# CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.217 2016. 10



## ➤ 1～4年生保護者懇談会等を実施しました。

6月25日(土)、26日(日)の2日間、1～4年生の保護者の方を対象に、学級担任との個別懇談会を開催し、両日併せて600名を超える参加をいただきました。

本校では、この懇談会を学生指導上重要なものと位置づけており、学業や進路、学生生活等について懇談しました。また、1年生学年別懇談会や2年生学科別懇談会、学寮関係者や学生相談室との懇談も設けました。

保護者の方々が熱心に話を聞いている様子が見受けられ、とても有意義な時間となりました



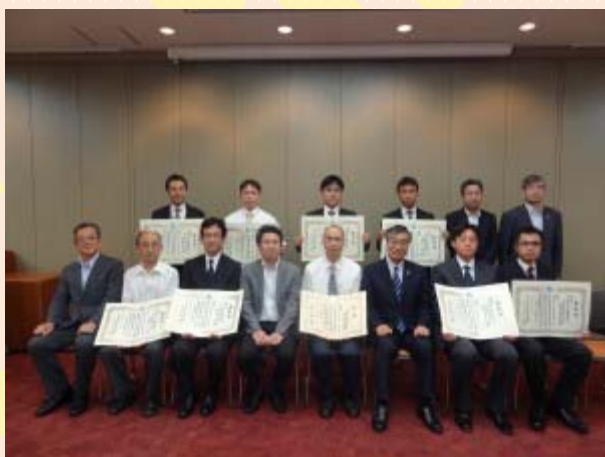
## ➤ 本校教員が文部科学大臣賞及び高専機構理事長賞を受賞しました。

平成27年度国立高等専門学校教員顕彰において、本校電子制御工学科の 出口 幹雄 教授が文部科学大臣賞を、同学科の 松友 真哉 准教授が若手部門で国立高等専門学校機構理事長賞をそれぞれ受賞し、6月27日(月)に、国立情報学研究所(学術総合センター)において表彰式を行いました。

この教員顕彰は、管理運営、地域社会への貢献を含み、学生教育を中心とする分野において顕著な功績を挙げている教員を顕彰するものです。

出口教授の顕彰題目は、「教育・学生指導・研究の全般にわたる顕著な功績」とされ、また、松友准教授の顕彰題目は、「可視化を活用した教育・研究・社会貢献の取り組み」とされ、それぞれの研究活動、学生指導、教育活動、地域貢献等が大きく評価されたことが今回の受賞に繋がりました。

今後の意気込みについて、出口教授は、「高専教員として最も名誉な賞を頂き、誠に畏れ多いことと恐縮至極ですが、これまで一所懸命に取り組んできたことを高く評価して頂いたということで、非常に有り難いことと思っています。今後も、これまで以上に教育・研究に励んで、実力を持つ学生を世に送り出すよう努めて行きます。」と述べ、松友准教授は「学生と一緒に取り組んできたことを評価して頂き感謝しております。今後も、より高度な研究で実践的な教育を目指したいと思います。」と述べました。



➤ **本校で参議院議員通常選挙の期日前投票を行いました。**

7月6日(水)、7日(木)両日の14時30分から18時の間、本校図書館棟1階 談話室において、参議院議員通常選挙の期日前投票を行いました。四国内の高専で期日前投票所を開設したのは、本校が初となります。

公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、新居浜市選挙管理委員会から要請があり、投票率の向上と、若年層に選挙を身近に感じてもらうことを目的として開設することとなりました。また、投票立会人や選挙事務も、本校の学生が行いました。

初日の6日には、開設と同時に本校の学生や一般の方々数人が受付に並びました。なかには、初めて投票する18歳の学生も来ており、緊張した面持ちで投票に臨んでいました。



➤ **留学生が日本語スピーチコンテストに出場しました。**



6月26日(日)、新居浜市総合福祉センター(ふれあいプラザ)において、にいはま日本語の会主催「第14回日本語学習者による日本語スピーチコンテスト」が開催され、本校留学生で機械工学科3年のシャミムさん(マレーシア出身)と生物応用化学科3年のグナワンさん(インドネシア出身)が出場しました。

習熟度別5部門に20名の外国人の方々の参加がありました。シャミムさんは中級の部(発表時間4分)に「スーパーヒーロー」というテーマで、幼い頃自分を励まし、見守ってくれた父母こそスーパーヒーローであり、感謝しているという内容のスピーチをしました。

グナワンさんは中上級(同4分30秒)に「空高く夢」というテーマで、日本に留学し、生物化学の勉強を一生懸命して、将来は人々を助けられるような仕事に就きたいと発表しました。

審査の結果、シャミムさんが部門1位を獲得し、表彰されました。2人はこの経験をもとに、日本語能力試験合格に向け、今後も日本語の勉強を続けていくと決意を新たにしていました。

➤ **台湾短期実習生が特別講座を行いました。**

7月12日(金)、本校に教育実習を目的として台湾から来校中の短期実習生、方紹安さんと許馨文さんが、「ランタンアクセサリーをつくろう!」と題して、特別講座を行いました。

講座には学生及び教職員が参加し、中国及び台湾の伝統工芸の一つである中国結を用いたランタンアクセサリー作りを、短期実習生の二人が講師となって実施しました。

本校の学生もランタンアクセサリー作りを楽しんでおり、また、異文化に触れるたいへん良い機会となりました。





短期実習生の二人は7月22日(金)までの期間、初級中国語等の授業の際に教壇に立ち、実習をしております。短い期間にはなりますが、多くのことを学び、吸収してほしいと思います。

➤ **第70回愛媛県高校総体に出場しました。**

6月3日(金)から6月5日(日)及び18日(土)、19日(日)において、第70回愛媛県高等学校総合体育大会が開催されました。



本校から出場した各部(団体・個人)とも日頃の練習の成果を十分に発揮し、懸命に戦い抜きました。

個人で、少林寺拳法(男子単独演武)が四国大会出場権を獲得しました。

大会前の6月1日(水)には、出場選手による結団式を開催しました。式では、迫原校長から激励の言葉があり、団長の環境材料工学科の平澤教員から結団の挨拶がありました。選手宣誓は選手を代表してサッカー部の機械工学科3年・青野圭佑さんが務め、意気込みを語りました。

➤ **同窓会青年部による「第4回 超・交流会」が開催されました。**

6月23日(木)、同窓会東予支部(国領会)青年部主催による「第4回 超・交流会」が開催され、青年部OBや本校学生ら約30名が本校学生食堂に集い、交流をしました。

青年部OBは学生と比較的年齢が近いこともあり、学生は進路に関することから、人生設計まで、身近な疑問や悩みを率直に相談していました。会場ではデザートや飲み物が提供され、和やかな雰囲気の中で、交流が行われました。

次回は国領祭(11月5・6日)に併せて実施する計画とのことです。



➤ **平成28年度外国人学生歓迎交流懇談会を開催しました。**



7月1日(金)、新居浜市教育委員会や新居浜市生涯学習センター、留学生支援でお世話になっている関係諸団体をお招きし、平成28年度外国人留学生歓迎交流懇談会を本校・尚友会館で開催しました。

本年度、本校は本科第3学年に新しく2名の留学生を迎え、第4学年、第5学年の各2名を合わせて、4カ国(インドネシア、マレーシア、モンゴル、ラオス)から計6名の外国人留学生在学しています。

会場では、留学生の出身国の紹介や日本での生活について、あちらこちらで懇談の輪ができていました。また、奇術部によるアトラクションがあり、会場は大いに盛り上がりました。

➤ **高専体育大会激励会を実施しました。**

7月1日(金)から7月10日(日)(一部競技除く)にかけて開催される四国地区高等専門学校体育大会、7月2日(土)・3日(日)に行われる全国高等専門学校弓道大会中四国予選及び13日(水)からの全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校学生も参加します。

これに先立ち、6月30日(木)、学生会が主体となり、出場選手を激励する会を第一体育館で実施しました。

激励会では、迫原校長と学生会長の激励の言葉や各クラブの代表者から大会へ向けた決意表明があり、大会に臨む選手達の意気込みが伝わってきました。最後に応援団のエールがあり、選手たちの士気をさらに鼓舞しました。



➤ **第21回高専ソコチカラを開催しました。**

7月9日(土)、商業振興センター(銅夢にいはま)で第21回高専ソコチカラを開催しました。

高専ソコチカラは、文化部及び文化系の愛好会がそれぞれの日頃の成果を披露する合同発表会で、学生が主体となって運営し、毎年春(3月頃)と夏(7月頃)の2回開催しています。

当日会場にはメインステージのほか、展示ブースにも大勢の方々が訪れ、盛況のうちに幕を下ろしました。

参加クラブは以下のとおりです。

＜演技＞

吹奏楽部、奇術部、軽音楽部、美術部、声楽愛好会、演劇愛好会、DANCE 愛好会、ESS

＜展示＞

写真部、美術部、文学漫画創作愛好会、マルチメディア愛好会、書道部、ESS

次回、第22回は来年3月5日(日)に新居浜市市民文化センター中ホールでの開催を予定しています。お楽しみに。



➤ **今年度も学生会による七夕祭を行いました。**

7月13日(水)、14日(木)、学生会が主体となって七夕祭を行いました。この催しは前年度から始まり、今年度で2回目となります。

12日(火)に学生会が校内に笹を設置し、予め学生に配っておいた短冊に願い事を書いてもらい、

翌13日～14日の間に、短冊を笹に結び付けました。また、短冊を書いてくれた学生の中から抽選でプレゼントも準備しており、さらに、学生会として実現できそうな願い事については、可能な範囲で対応を考える、といった内容です。

休み時間には笹の設置箇所にも多くの学生が集まり、皆笑顔でたいへん賑わい、七夕祭を楽しみました。





➤ **第3回全国高専弓道大会中四国予選を開催しました。**

7月2日(土)・3日(日)、第3回全国高等専門学校弓道大会中四国予選(本校主管)を今治市営中央体育館弓道場において開催しました。

当日は、中国・四国地方6高専(阿南・新居浜・高知・松江・弓削商船・宇部)の参加があり、選手たちは皆、日頃の練習の成果を発揮していました。

大会結果は次のとおりです。

男子団体の部	優 勝	松江工業高等専門学校	全国出場
	準優勝	高知工業高等専門学校	全国出場
	3 位	阿南工業高等専門学校	
女子団体の部	優 勝	宇部工業高等専門学校	全国出場
	準優勝	新居浜工業高等専門学校	全国出場
	3 位	松江工業高等専門学校	
男子個人の部	優 勝	松江高専 岩田 匠平	全国出場
	準優勝	阿南高専 山本 弦太	全国出場
	3 位	弓削商船高専 神野 義久	全国出場
	4 位	松江高専 原田 祥吾	全国出場
	5 位	阿南高専 井関 遼太	
女子個人の部	優 勝	新居浜高専 平井 初	全国出場
	準優勝	高知高専 平井 志織	全国出場
	3 位	松江高専 高見 結衣	全国出場
	4 位	阿南高専 棚橋 咲紀	全国出場
	5 位	宇部高専 畑尾 萌里	

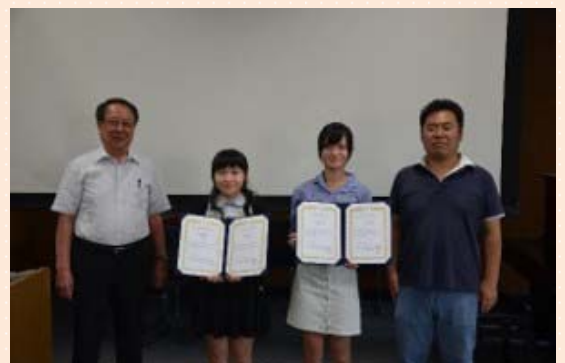
※全国出場 …… 全国大会出場権を獲得した団体・選手

本校は女子団体の部で準優勝し、また女子個人の部では、5年環境材料工学科の平井初さんが優勝しました。ともに、8月に山口市で開催される全国大会(宇部高専主幹)に出場します。

➤ **台湾実習生の成果報告会を行いました。**

7月22日(金)、教育実習を目的とした台湾からの短期実習生、方紹安さんと許馨文さんによる成果報告会を行いました。二人は6月20日(月)から一ヶ月間にわたり本校で実習を行ってきました。

報告会には学生や教職員が集まり、実習生の二人がプロジェクターを使ってこれまでの授業風景や本校学生との思い出の写真を披露しました。その後、この1ヶ月間で学んだことや思い出に残っていることを発表しました。



最後に、迫原校長から二人に実習修了証明書を授与し、清風寮の前で記念撮影を行いました。また、翌日23日には多くの本校女子学生が見送り、笑顔と涙で帰国の途につきました。今後の二人の活躍を、大いに期待しております。

➤ **障がい学生支援に関する研修会を開催しました。**

本年4月に障害者差別解消法が施行されたことを受け、8月2日(火)に、新居浜市教育委員会 発達支援課 指導主幹の西原 泰介 氏をお迎えし、「発達障がいの理解と支援」と題して障がい学生支援に関する研修会を開催し、教職員約50人が参加しました。



研修会では、発達障がいのある若者の特徴をわかりやすく説明した動画を視聴した後、障がいの事例や種類及びその障がいの種類ごとに支援者としてできることについて、詳細な説明がありました。

短い時間でしたが、学生支援における重要な研修内容で、参加した教職員も聞き入っていました。また、障がいのある学生のサポートについて学ぶたいへん貴重な機会となりました。

➤ **平成28年度科学研究費助成事業説明会を開催しました。**

8月3日(水)に、本校第一会議室と第二会議室において、科学研究費の申請・採択件数の増加を目的とした説明会を、機械・制御系と電気・電子・情報系の二分野に分かれて、同時開催しました。

講師として香川大学工学部から、機械・制御系分野は高尾英邦教授を、電気・電子・情報系分野は丸浩一准教授を迎え、本校教職員53名が参加しました。

高尾教授は【しっかり読まれる科研費申請書の書き方と戦略】、丸准教授は【科研費申請のポイント～私の場合～】と題し、申請のポイントについて、審査の観点および自身の経験を踏まえた説明がありました。

参加者は科学研究費助成事業の仕組み、審査の観点、申請書の書き方等についての理解を深め、また、研究計画調書を作成するうえで気になっていることなどについて質問をし、今後の申請に対する意欲が高まった様子でした。



➤ **応急手当講習会並びに学寮防災避難訓練を実施しました。**



7月15日(金)、新居浜市北消防署の消防隊員を講師にお迎えし、1・2年生対象の応急手当講習会並びに寮生を対象とした学寮防災避難訓練を実施しました。

応急手当講習会では、心肺停止の方を救うには、救急車到着までの初期処置が重要であるとの説明があり、ビデオで救命処置の手順を学習しました。救急車到着まで平均7～8分かかるということで、クラブ活動中に心肺停止になった学生を側に居合わせた学生が救命処置を施



し、そのおかげで一命を取り留めた話などをしていただき、学生らは勇気をもって対処することの重要性について理解した様子でした。

続いて実施した学寮防災避難訓練では、第1学年寮生等が訓練に臨み、代表学生による避難梯子訓練、消火器の説明、放水訓練を行いました。高所での訓練のため、始めは恐る恐る実技をしていましたが、「いざという時のため」真剣に訓練に取り組んでいました。

### ➤ 高校野球選手権愛媛大会に出場しました。

7月14日(木)から始まった第98回全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校硬式野球部(低学年)が出場し、7月16日(土)、今治市営球場で行われた初戦で松山商業高校と対戦しました。

4回に1点を先行されましたが、青波投手(3年電気情報工学科)は緩急をつけた投球で再三フライに打ち取り、無失策のバックの好守もあり追加点を許しませんでした。相手投手の速球に打ち損ねていた終盤、梶原(3年環境材料工学科)、高橋隆(3年電子制御工学科)らが安打を放ち、8回裏の二死満塁など攻め立てましたが、あと一本が出ず、涙をのみました。ベンチの声を支えに、選手それぞれが持てる力を出した接戦となりました。



学生監督の4年機械工学科の河野雄輝さんは「敗れたが、新人戦では小松高校に29点も奪われたチームが皆で1失点に抑えたのは1年間の成果。チーム全員が精神面で成長した。新チームも彼らに続いて頑張ってもらいたい。」とエールを送っていました。

### ➤ 高専ロボコン清水先生(東工大名誉教授)が来校されました。

8月7日(日)、高専ロボコンの創設期から長年にわたって携われ、現在は高専ロボコンの競技専門委員をされている清水優史先生(東京工業大学名誉教授)が本校ロボット研究部やロボコン出場チームのメンバーを激励するため、来校されました。

清水先生は、エンジニアとして創造的であることが大事と述べられ、自由な発想のヒントとして、過去の発見や発明を例示されました。その上で、自由な発想には「動機(愛情)」が必要であり、「常識」や「できないと思ひ込むこと」はその邪魔になるとお話いただきました。

その後、本とコピー用紙を岸と橋に見立て、500mlペットボトルでその強度試験をしました。学生は自由な発想で色々な折り方を試し、清水先生に指導をいただきました。

また、学生からの質問や相談にも応じていただき、学生にとっては大変有意義な時間となりました。



➤ 平成28年度夏季体験学習を実施しました。

8月10日(水)・11日(木)の2日間、中学生を対象に夏季体験学習を開催しました。

この体験学習は、中学生にとって分かりやすく、興味を持てるようなテーマを設け、本校の施設や実験装置を使いながら中学生にもものづくりの魅力を体験してもらうとともに、進路決定の一助としてもらうと企画しているものです。

今年度も、5学科10テーマに2日間で延べ961名の中学生が参加し、高専生や教職員のアドバイスを受けながら、ものづくりに取り組みました。

また、この体験学習に併せて、引率の教員や保護者の方を対象に、本校の紹介や進路説明等を行う懇談会を開催し、200名以上の参加がありました。

ほかにも、希望者を対象に学寮見学を実施し、寮生が居室や食堂等を案内しながら、寮生活の様子を中学生や保護者の方に紹介しました。



☆テーマ☆

機械工学科	: 最強のミニバイクをつくろう！ エンジンのしくみを知ろう！
電気情報工学科	: 音楽を持ち帰ろう！ ミニ電光掲示板を作ろう！ パソコンを組み立てよう！
電子制御工学科	: ゲームプログラミングに挑戦！ ポータブルゲーム機を作ろう！ 電子サククスを作ろう！
生物応用化学科	: 化学屋敷！
環境材料工学科	: 材料の魅力、おもしろさ、たのしさ トリプルスリー 安心して下さい、体験できますよ。





➤ **小・中学校理科及び中学校技術科教員 夏季実技研修会を開催しました。**

8月18日(木)、小・中学校の理科教員および中学校技術科教員を対象に夏季実技研修会(後援 新居浜市教育委員会)を開催しました。本研修会は、児童生徒の理科や科学技術に対する興味関心を高め、知的探求心を育成することを目的としており、教員に理科実験や工作等の教材を紹介する機会として、毎年開催しています。今年度は小・中学校理科と中学校技術科の研修を同時に開催し、31名の参加がありました。今年度は、「立体模型を作ろう」「紙で作る発見型学習教材」「バイク模型を作ろう」「エネルギー変換模型(水力発電キット)の作製」というテーマで研修会を行いました。



午前の研修では、前半は数式のイメージ化を助ける、数式を元にした立体模型の作製を行い、後半はハイパーカード・円環・メビウスの帯・折り紙六角形を作成しながら、発見型学習教材をテーマに研修を行いました。

午後の研修では、前半は本校のレーザー加工機を使用して作製したバイク模型の作製を行い、後半は風力・水力発電キットを作製し、発電～蓄電～活用の仕組みについて学びました。参加者は興味深く取り組んでいました。

主催したものづくり教育支援センターでは、地域に身近な高専として小・中学校の理科・技術科教育の一助となるよう、今後もこのような活動に取り組んでまいります。

➤ **「Disわあるど in 四国 たかまつ」に本校教員が参加しました。**



7月20日(水)、21日(木)の2日間、サンメッセ香川(高松市)で行われた「Disわあるど in 四国 たかまつ - ICT × 地方創生 四国のチカラをICTで活性化 -」に、本校電子制御工学科 占部 弘治 准教授が参加し、現在取り組んでいる研究テーマ「Webを利用したスライド提示型講義授業状況収集システム」について紹介を行いました。

今回は、四国地区高専地域イノベーションセンター「四国の高専発！我々のICT技術」として、四国5高専6キャンパスから6つの研究テーマを展示し、合わせてショートセッション発表も行いました。

本展示会ではITソリューションに関連する企業が全国から約180社出展しており、同分野の来場者ならびに出展企業と各高専の教員との情報交換が行われ、企業等関係者の方とのネットワーク拡大の機会となりました。

## ➤ 第12回能代宇宙イベント・CanSat 競技に本校チームが出場しました。

8月17日(水)から22日(月)にかけて、能代宇宙広場(秋田県能代市 旧浅内第三鉱さい堆積場)において標記のイベントが開催され、本校電気情報工学科5年の青木 涼さんと 竹林 和哉さんの卒業研究を通じて製作した衛星機能モデル(CanSat)が「CanSat 競技・ランバック部門」に出場し、3位入賞を果たしました。このイベントには全国の大学・高専等から約30チームが出場し、本校は唯一の高専チームでした。また、同学科5年の 加地 純平 さん、高岸 隼大 さんも応援に駆けつけました。

「CanSat 競技」は、イベント運営側が用意する気球に CanSat を搭載し、高度50m程度に上昇させ、空中で CanSat を放出します。その後、CanSat が自律制御により飛行または走行して、あらかじめ指定した目標ポイントの近くに到着できるかを競います。このうち、目的地まで飛行するものは「フライバック」と呼ばれ、着地後に走行するものは「ランバック」と呼ばれます。また、CanSat が自律制御を行った証拠となる「制御履歴データ」の提出が求められます。



本校から出場した CanSat はランバックタイプで、GPS 受信機で座標を取得し、目的地を目指します。本校のチームは、地上での準備から投下、目的地到着までの流れを繰り返し実験し、CanSat 本体における走破性能の向上だけでなく、パラシュート切り離しの仕組み等を工夫した上で競技に臨みました。

各チーム2回ずつ競技を行いました。本校のチームは2回目にうまく走行することができ、目的地周辺(距離は3.75m)で自動停止しました。今回の入賞は、過去4回の出場の中でも初の入賞で、参加した学生も大変喜んでいました。また、地元のテレビ局からも取材を受け、本校学生のコメントが地域に放送される等、大変実りの多いイベントとなりました。

## ➤ イノベーション・ジャパン2016に出展しました。

8月25日(木)・26日(金)の2日間、東京ビッグサイトにおいて「イノベーション・ジャパン2016 ～大学見本市&ビジネスマッチング～」が開催され、本校から電子制御工学科 出口 幹雄 教授が出展しました。

この展示会は今年で13回目を迎え、大学等のシーズと産業界のニーズの新たな結合による知の創出により、科学技術の成果の社会還元へのスタートの場を提供すべく開催されています。今回の出展団体数は502団体、来場者数は2日間で2万人を越える盛況でした。



出口教授は「超低コストの人体情報モニタリング法」と題して最新の研究成果をブース展示してPRしました。ライフサイエンス分野のブースの中で、高専からの出展ブースは会場の隅に設定されており、ブースの配置的にはあまり恵まれていませんでしたが、それでも多くの来場者がブースを訪れ、展示技術に強い関心を示していました。共同研究等への今後の発展が期待されます。



➤ **本校教員が研究・開発奨励賞を受賞しました。**

7月9日(土)、第8回軽金属学会中四国支部講演大会(会場:鳥取大学工学部)において、本校環境材料工学科の高橋 知司特任教授が講演を行い、研究・開発奨励賞を受賞しました。

高橋特任教授の講演題目は、「金属間化合物 TiAl 合金の高温酸化に及ぼす Zr 添加の影響」で、研究・開発の内容が極めて優秀であり、軽金属に関する研究・開発の進歩に寄与するところが多大であると評価を受け、今回の受賞にいたりました。



➤ **ものづくりフェスタ in 松山 2016 を開催しました。**

8月26日(金)、27日(土)の2日間、愛媛大学の協力を得て、同大学城北キャンパスにて「ものづくりフェスタ in 松山 2016」を開催しました。

この催しは、理工系に興味のある小中学生を対象に、夏休みを利用して「科学の不思議」や「ものづくりの楽しさ」を体験してもらうために開催しており、今回で12回目となります。

「ファンタスティックLEDライトを作る電子工作教室」、「身近な発電・蓄電！」という2講座に、2日間でのべ178名の小中学生が参加しました。参加者は、本校教員や補助学生のアドバイスを受けながら趣向を凝らした作品づくりや実験に熱心に取り組み、ものづくりの楽しさを満喫しました。



期間中、液体窒素実験コーナーも設置し、講座を終えた参加者が興味深く見入っていました。

また、「受検に関する相談会」では、保護者を対象に、本校教員が新居浜高専の紹介や入試制度の説明等を行いました。

➤ **高専スペースキャンプ in 四国 2016 を開催しました。**

9月1日(木)~4日(日)、新居浜市のマリンパーク新居浜及び黒島海浜公園において、「高専スペースキャンプ in 四国 2016」を開催しました。

この催しは、平成26年度に採択された「国立高専超小型衛星実現に向けての全国高専連携宇宙人材育成事業」の一環として行われたもので、高知高専が主管校となり、本校(会場校)のほか、徳



山、香川、奈良、岐阜、明石、米子、群馬、鹿児島、福井、鶴岡の計12高専が参加しました。

1日(木)には、宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所 津田雄一准教授による講演『小惑星探査機「はやぶさ2」の開発・運用と太陽系探査』があり、2日(金)にはモデルロケット製作講座や缶サット(模擬人工衛星)製作講座等を開催しました。缶サットは一般的な製作方法を学んだ後で、グループごとにミッション(データ取得、画像撮影、姿勢制御等の缶サットに行わせる動作)を考え、それを遂行するための缶サット製作を行い、グループによっては深夜まで作業が続きました。

3日(土)には黒島海浜公園に移動し、前日に製作したモデルロケットや缶サットを用いた実験を行いました。モデルロケットは1人ずつ打ち上げと回収を行い、缶サットは係留気球からの投下実験を実施しました。



特に缶サットの実験は、グループごとにミッションの達成度を競い合う「高専缶サット大会」として実施し、各グループで様々な工夫を凝らした缶サットが登場しました。更に、特別デモとして各高専の活動の中で製作されたモデルロケット(大型を含む)の打ち上げや、缶サットの動作実験・通信実験等が行われました。

このキャンプには、本事業の研究分担者である本校電気情報工学科の 若林 誠 講師の引率のもと、同学科3年生の 河村 佳菜 さん、宮田 紗季 さんも参加し、楽しみながら理解を深めていました。

### ➤ **ものづくりコンテスト高専ツアー・にいほま6:30倶楽部を開催しました。**

9月16日(金)、本校において『ものづくりコンテスト 高専ツアー』を開催しました。本ツアーは、学生が取り組んでいる課外活動等について、広く一般の方に紹介することを目的として開催したものです。

当日は、10月末に四国地区大会出場を控えた「高専ロボットコンテスト(通称:ロボコン)」をはじめ、合計8つのブース展示を行いました。各ブースでは、本校の教員や学生が熱のこもった紹介・説明を行い、それに対して来場者からは、競技のルールや製作時に工夫している点について数多くの質問が寄せられました。

ツアー終了後は、会場を尚友会館に移し、異業種交流会『にいほま6:30倶楽部』を開催しました。会場は100名近い参加者で大変な賑わいを見せ、産学官の活発な意見交換と交流の場となりました。



### ➤ **台湾の国立聯合大学と学術交流協定を締結しました。**

9月19日(月)、台湾の国立聯合大学と学術交流に関する協定を締結しました。

協定には、学生及び教職員の交流等が盛り込まれ、台湾聯合大学において行った締結式で、同大学の蔡東湖学長と本校迫原校長が、協定書に署名しました。締結式に引き続き、両校が学校の概要を紹介し、学生のインターンシップや相互訪問、さらには教員の受入等、今後の交流についての意見交換を行いました。本校は、当学術交流協定の締結によって、さらなる国際交流の推進と世界に通用するグローバル人材の育成に取り組む計画です。





### 【国立聯合大学の概要】

国立聯合大学は、台湾の苗栗市にあります。苗栗市は台湾中北部に位置する苗栗県の県庁所在地で、人口は約9万人です。国立聯合大学には、7千人余りの学生が在学しています。

高専機構と国立聯合大学とは、平成24年に包括協定を結んでおり、今年6月には、本校でも国立聯合大学から2名の実習生を受け入れました。

### ➤ 「愛媛農林水産業スゴ技マッチング交流会」に本校教員が参加しました。

9月9日(金)、愛媛大学農学部で行われた「平成28年度愛媛農林水産業スゴ技マッチング交流会」に、本校生物応用化学科堤主計准教授が参加し、現在取り組んでいる研究テーマ「生分解性プラスチックを用いた環境適応型徐放剤(薬剤を一定期間緩やかに放出させることができる材料)」について展示パネル紹介を行いました。多くの愛媛県関係者や企業関係者との情報交換が行える良い機会となりました。

この交流会は、愛媛の革新的な技術開発を推進するために、愛媛大学大学院農学研究科と愛媛県農林水産研究所が、愛媛のスゴ技を有するものづくり企業などと協力し、それぞれの研究成果やスゴ技・新商品を紹介して連携強化を図ると共に、最新の研究情報の提供や商品開発に対する意見交換を行うことを目的として開催され、約150人の参加がありました。



### ➤ 本校学生が特別支援学校に教材を披露しました。

9月21日(水)、本校機械工学科の2年生が、新居浜特別支援学校川西分校の児童たちに、「デザイン工学演習」の授業で製作した教材を披露しました。

教材は、学生が班に分かれてそれぞれ製作し、『楽しんでできる「音が鳴る」教材づくり』のテーマのもと、音色に合わせてLEDが光るベル、台車の位置エネルギーを利用するボウリングゲーム等様々なものがあり、この教材のユーザーとなる支援学校の児童たちに実際に使ってもらいました。

今回の披露による評価をフィードバックし、今後教材を仕上げていく予定です。教材を製作した学生は、課題を発見し、解決案を具現化(ものづくり)する上で、ユーザー目線の思考が実際に触れてもらわないと不十分であることを実感した様子でした。今後の設計(ものづくり)に活かしてくれることを期待しています。



また、このような貴重な体験をさせていただくこととなったのは、支援学校の先生に、毎月1回実施している介護工学研究会にお越しいただいたことがきっかけです。今回の件についても、地域の皆様のご協力によるものと考えております。今後とも皆様のお力添えのもと、本校

学生の教育に務めて参ります。

➤ **平成28年度学校見学会を開催しました。**

9月24日(土)に中学生とその保護者を対象とした学校見学会(オープンキャンパス)を開催しました。当日は、新居浜市内いくつかの中学校で運動会が開催され、例年よりも少人数となりましたが、愛媛県を中心に、徳島県、香川県、広島県の中学校46校から、延べ282人の参加をいただきました。

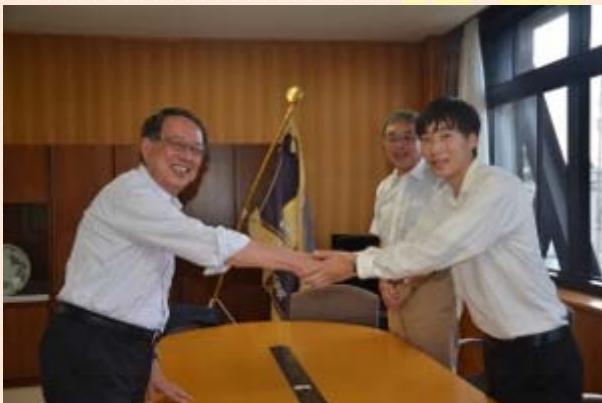
参加者らは全学科コースと学科別コースに分かれ全体説明を受けた後、本校学生や教員の案内で施設・各学科の紹介、実験・実習施設の概要説明を受けるとともに、実験実習を中心とした模擬授業を体験しました。また、希望者には学寮見学も実施しました。

終了後のアンケートでは、「とても楽しかった。もっと授業を聞いていたかった。」「実際に学校内を見学できてとても参考になった。新居浜高専にもっと興味が湧いた。」「各学科の学生さんによる、一生懸命な説明、大変参考になった。」など好評をいただきました。



➤ **電気情報工学科の学生がトビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムでオーストラリアに出発します。**

官民協働で取組む海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム(高校生コース・アカデミックロング)」に電気情報工学科3年の北野風雅さんが採択され、9月26日(月)、出発を前に迫原校長に報告を行いました。

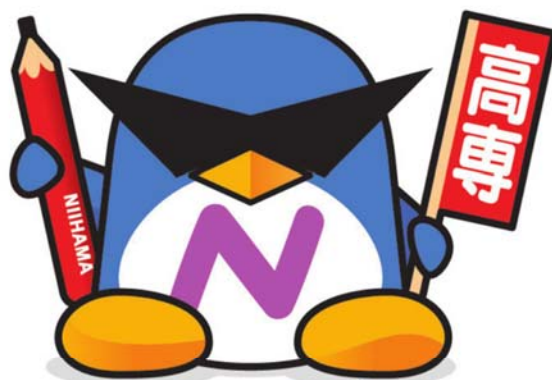


北野さんは、国際的な視野を身につけたいと思い、多文化主義を尊重するオーストラリアの工業高校へ1年間の留学を希望し、この度採択されました。

迫原校長から書面審査後の面接審査の様子や、派遣先での計画などの質問を受けていました。

北野さんは今後、日本に貢献する国際的な技術者になることを目指し、10月にオーストラリアへ出発する予定です。





技術で羽ばたけ  
世界へ未来へ  
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜高専

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号  
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842